

#### IV 世帯の家計資産

##### 1 家計資産概況

家計資産総額は15,046千円。2014年と比較して20.9%減少

総世帯の1世帯当たり2019年10月末日現在の家計資産総額<sup>※1</sup>は15,046千円であった。2014年<sup>※2</sup>と比較すると、20.9%の減少となっている。家計資産の種類別にみると、宅地資産が7,573千円（家計資産に占める割合50.3%）で最も多く、次いで純金融資産が4,981千円（33.1%）、住宅資産が2,492千円（16.6%）となっている（表IV-1、図IV-1）。

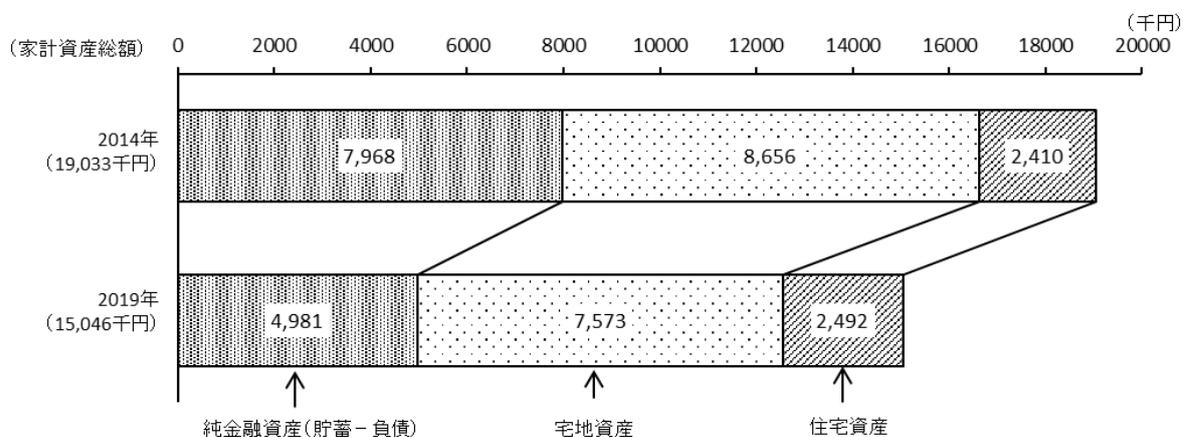
※1 結果の概要で用いている「家計資産総額」は、統計表の「純資産総額」に該当する。「家計資産総額」（純資産総額）は、「純金融資産（貯蓄－負債）」と「住宅・宅地資産」の合計である。

※2 2014年11月末日現在

表IV-1 家計資産の内訳（総世帯）

項目	2014年		2019年		増減率 (%)	構成比 上昇・低下幅 (ポイント)
	実数(千円)	構成比(%)	実数(千円)	構成比(%)		
家計資産総額	19,033	100.0	15,046	100.0	-20.9	-
純金融資産(貯蓄－負債)	7,968	41.9	4,981	33.1	-37.5	-8.8
金融資産残高(貯蓄現在高)	10,835	-	7,929	-	-26.8	-
金融負債残高	2,867	-	2,948	-	2.8	-
住宅・宅地資産	11,065	58.1	10,065	66.9	-9.0	8.8
宅地資産	8,656	45.5	7,573	50.3	-12.5	4.9
住宅資産	2,410	12.7	2,492	16.6	3.4	3.9
(再掲)現住居・居住地	9,375	49.3	8,489	56.4	-9.5	7.2
宅地資産	7,398	38.9	6,321	42.0	-14.6	3.1
住宅資産	1,977	10.4	2,168	14.4	9.7	4.0
(再掲)現住居・居住地以外	1,690	8.9	1,575	10.5	-6.8	1.6
宅地資産	1,258	6.6	1,252	8.3	-0.5	1.7
住宅資産	433	2.3	324	2.2	-25.2	-0.1

図IV-1 家計資産の種類別家計資産総額（総世帯）

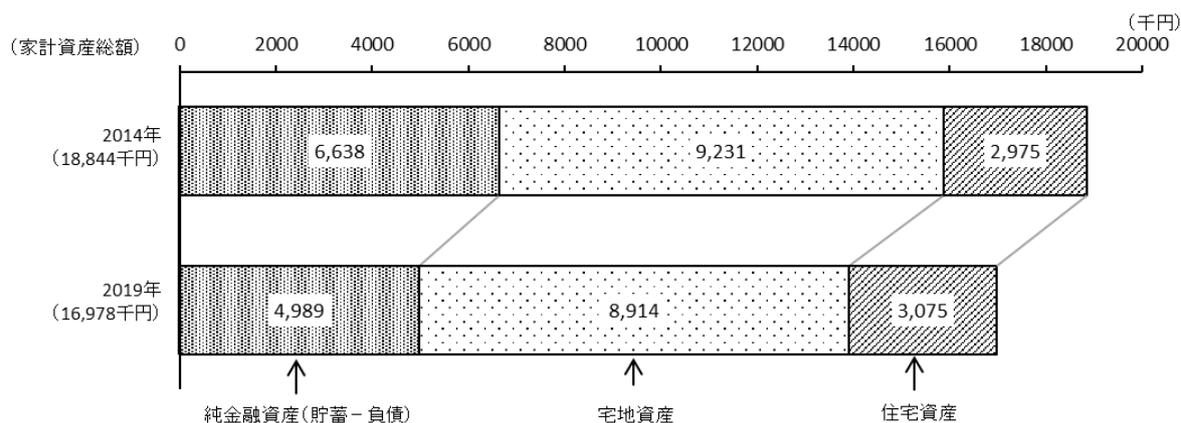


二人以上の世帯の家計資産総額は16,978千円と、2014年に比べ、9.9%の減少となっている（表IV-2、図IV-2）。

表IV-2 家計資産の内訳（二人以上の世帯）

項目	2014年		2019年		増減率 (%)	構成比 上昇・低下幅 (ポイント)
	実数(千円)	構成比(%)	実数(千円)	構成比(%)		
家計資産総額	18,844	100.0	16,978	100.0	-9.9	-
純金融資産(貯蓄-負債)	6,638	35.2	4,989	29.4	-24.8	-5.8
金融資産残高(貯蓄現在高)	10,392	-	8,880	-	-14.5	-
金融負債残高	3,754	-	3,891	-	3.6	-
住宅・宅地資産	12,206	64.8	11,989	70.6	-1.8	5.8
宅地資産	9,231	49.0	8,914	52.5	-3.4	3.5
住宅資産	2,975	15.8	3,075	18.1	3.4	2.3
(再掲)現住居・居住地	10,239	54.3	9,823	57.9	-4.1	3.5
宅地資産	7,853	41.7	7,161	42.2	-8.8	0.5
住宅資産	2,386	12.7	2,662	15.7	11.6	3.0
(再掲)現住居・居住地以外	1,967	10.4	2,166	12.8	10.1	2.3
宅地資産	1,378	7.3	1,753	10.3	27.2	3.0
住宅資産	589	3.1	413	2.4	-29.9	-0.7

図IV-2 家計資産の種類別家計資産総額（二人以上の世帯）



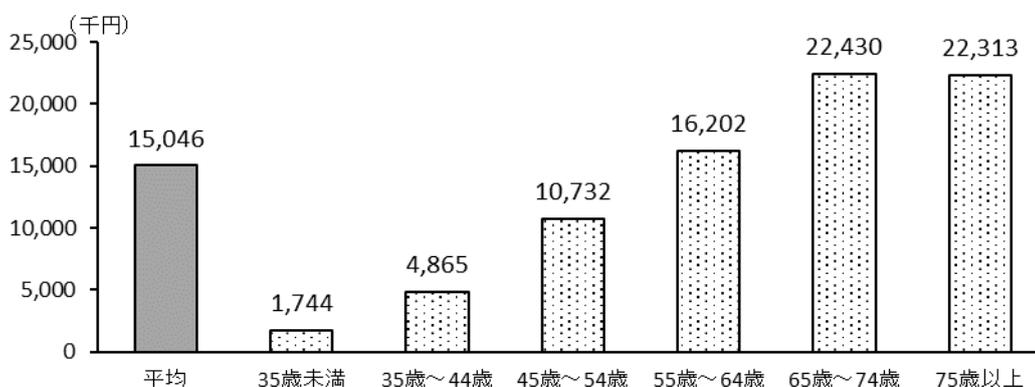
## 2 世帯主の年齢階級

家計資産総額が最も多いのは、世帯主が65歳～74歳の世帯

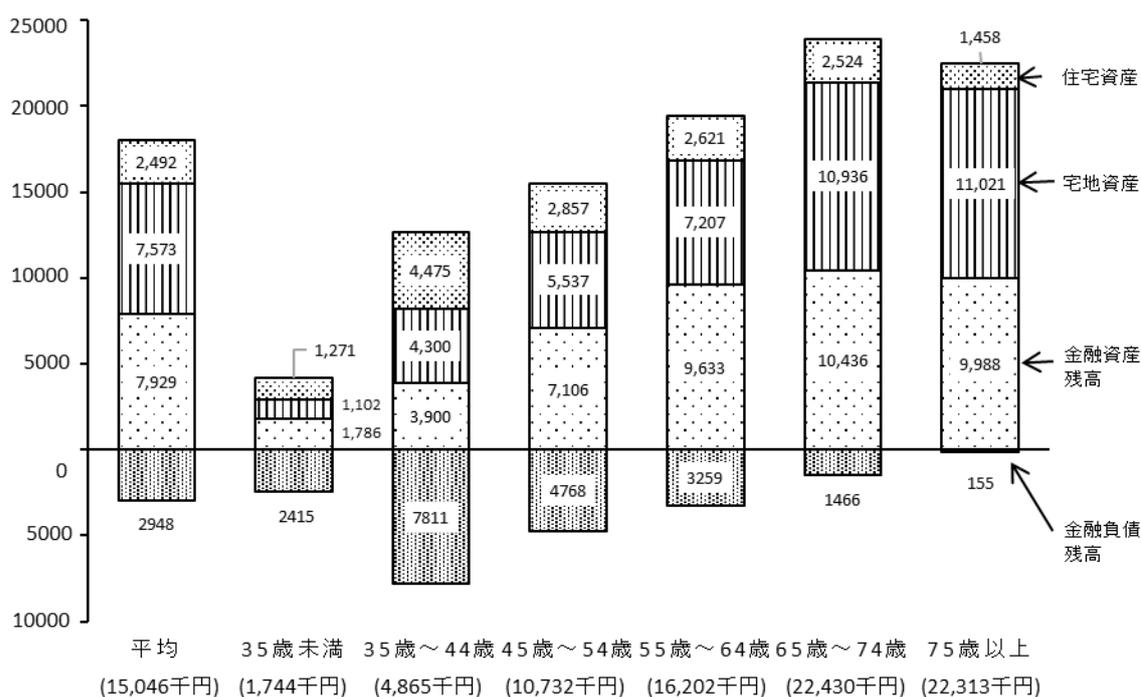
総世帯の家計資産総額を世帯主の年齢階級別にみると、35歳未満が1,744千円、35歳～44歳が4,865千円、45歳～54歳が10,732千円、55歳～64歳が16,202千円と年齢階級が高くなるに従って多くなり、65歳～74歳の22,430千円をピークに、75歳以上は22,313千円と少なくなっている（図IV-3）。

家計資産の種類別にみると、「宅地資産」は年齢階級が高くなるに従って多くなっている。一方、「住宅資産」は35歳未満、35歳～44歳と年齢階級が高くなるに従って多くなり、35歳～44歳をピークに45歳～54歳以上は年齢階級が高くなるに従って少なくなっている（図IV-4）。

図IV-3 世帯主の年齢階級別家計資産総額（総世帯）



図IV-4 世帯主の年齢階級別家計資産構成（総世帯）



### 3 都道府県別にみた家計資産

家計資産総額は、全国で43位、九州で7位

総世帯の家計資産総額を都道府県別にみると、東京都が47,010千円と最も多く、次いで神奈川県、愛知県、埼玉県、奈良県などとなっている。一方、北海道が14,316千円と最も少なく、次いで青森県、鹿児島県、秋田県、宮崎県などとなっている。

宮崎県は、全国で43位、九州で7位となっている（表Ⅳ－3、図Ⅳ－5）。

表Ⅳ－3 都道府県別家計資産総額（総世帯）

順位※	都道府県	金融資産残高 (千円)	順位	都道府県	金融資産残高 (千円)	順位	都道府県	金融資産残高 (千円)
1	東京都	47,010	17	徳島県	23,396	33	新潟県	19,996
2	神奈川県	37,877	18	群馬県	23,288	34	岩手県	19,754
3	愛知県	34,898	19	三重県	23,254	35	鳥取県	19,652
4	埼玉県	32,202	20	宮城県	23,108	36	熊本県	18,894
5	奈良県	32,042	21	茨城県	22,936	37	山口県	18,733
6	京都府	30,139	22	長野県	22,718	38	山形県	18,686
7	千葉県	29,896	23	愛媛県	22,615	39	高知県	18,405
8	兵庫県	29,760	24	和歌山県	22,026	40	大分県	16,918
9	静岡県	29,330	25	栃木県	21,902	41	佐賀県	16,415
10	大阪府	26,884	26	沖縄県	21,879	42	長崎県	16,145
11	滋賀県	26,764	27	石川県	21,860	43	宮崎県	15,046
12	福井県	26,440	28	山梨県	21,700	44	秋田県	15,030
13	富山県	26,381	29	福島県	21,363	45	鹿児島県	14,747
14	岐阜県	26,069	30	島根県	20,878	46	青森県	14,541
15	広島県	25,880	31	福岡県	20,214	47	北海道	14,316
16	香川県	23,449	32	岡山県	20,213			

図Ⅳ－5 都道府県別家計資産総額（総世帯）

